

平成20年11月

[配布先：全組合員]

市場情報

<地区の動向>

東京

瞬く間に

大変な世の中である。新聞紙上では『過去最高の〇〇』などの見出しが躍る。

当然、良い話ではない。株の暴落、円高、スクラップの下落、高炉の値上げ…挙げればきりが無い。そして全ての事項のスピードが速いこと。

一ヶ月先が読めない。来週のことすら読めない中で仕方がないと思う他ないであろう。おそらくこの文章がのるころにはまた違った局面を迎えていることだろう。

比較的好調と言われていた造船についても材料費高騰によりキャンセルが出始めていると漏れ聞こえてくる。比較的順調だったトラック関係も、国内販売は頭打ちで次回の排ガス規制までは期待薄である。頼みの綱の輸出もやはり世界情勢から感ずるところ水物である。マンション・オフィスビルにも空き室が目立つ中、それを扱う業者の倒産も多くなってきている。

高炉品の値上げ後の高い材料を冷え切った市中でいかに受注し、捌く

か？ただただやるしかない。それが今のベターな方法かも。

(金加シャーリング・加藤茂)

東 海

加工業者であることに誇りを

サブプライムローンショック以降、世界的な金融不安から、景気が急激に落ち込み、ゼネコンの倒産や建築物のキャンセル、自動車生産の下方修正など悪い材料が萬歳で、厚板関係でも建機や工作機械の輸出に陰りが見えてきました。

また、スクラップの大幅な値下がりもあり、電炉メーカーの中には値下げをするところも出てきました。その中で、厚板は高炉の値上げや枠の問題もあり、切板価格が急激に変わるとは思いませんが、スクラップ価格が下がった今こそ、変な競争をせず、加工業者であることに誇りを持ち適正な製品価格を、お客様に提示してゆきたいものです。

(鈴将鋼材・鈴木康司)

市場委員会の次回開催予定

第139回市場委員会

12月11日(木) 11:30

於 大坂・ラマダホテル

(注) 開始は11:30です。